



農業と福祉の連携で福島を元気に！！



本年度の『農福連携事業』も、間もなく終盤。まとめの時期を迎えます。

この間、「就労支援マッチング」「アドバイザーの派遣・研修会の開催」「農産物の6次化支援」「マルシェの開催」等の事業を行いながら、『農福連携事業』の啓発・推進に努めています。

本事業も4年目を迎え、事業所の皆様はじめ関係機関の皆様を支えられ、理解と支援の広がりを感じています。特に「就農支援・マッチング」においては、派遣依頼件数64件・延べ派遣人数1,481名（12月末現在）を数え、作業の少ない時期（冬季～春先）に作業依頼をいただいた果樹園内の作業も年間を通じて作業依頼をいただくなど、安定した作業依頼・派遣につながっています。

またJA全農福島様を通じて情報をいただいた郡山・白河・喜多方各エリアの農業法人・JA選果場・農家等からも作業依頼をいただき、課題の一つである「エリアの拡大」「作業依頼の情報収集」についても農業団体との連携により一定の方向性が見出せたように感じます。

なお、今年度より連携を進めている団体とセミナー・シンポジウムなどの『農福勉強会』も共催により実施するなど連携の広がりとともにその重要性も実感しています。

◎『ノウフクフォーラムふくしま』

実施日：令和元年11月28日

主 催：福島県授産事業振興会、日本農福連携協会

共 催：郡山市、日本フィランソロピー協会

コスモス会、キャリア・デザイナーズ



◎『JA全農福島 農福連携セミナー』

実施日：令和2年1月24日

主 催：JA全農福島

共 催：福島県授産事業振興会

今後も、6次化製品のブランディングや販売強化を念頭に基本となる『4つの事業』それぞれに調整・推進をはかりながら、「農業」と「福祉」の双方により良い関係性を構築するために歩んでまいります。『農福連携事業』に関するお問い合わせ、ご意見など皆様の”声”をお聞かせください。



(担当：農福連携担当コーディネーター 渡部 栄昭)